



■■ 令和2年12月 ■■

## ～永年の貢献に感謝！クリーンさっぽろで表彰～

このたび、栄町東町内会（石井満会長）と栄東連合町内会副会長の北崎迪子さんが東区クリーンさっぽろ衛生推進協議会の会長表彰を受賞されました。

栄町東町内会は、役員・班長が中心となった定期的なごみステーションのパトロールや年3回の一斉清掃を継続し、集団資源回収も毎月行うなど、ごみ減量やリサイクルの推進など環境衛生運動に寄与され、衛生モデル地区として大変評価されております。また、北崎副会長は、単位町内会の役員時代から環境衛生部長、副会長、会長としてごみステーションの管理や環境美化を実践されてきたほか、平成15年からクリーンさっぽろ衛生推進員、平成25年からは副地域推進員としてクリーンさっぽろ衛生推進協議会の活動に協力し、ごみ減量や環境美化に貢献されております。

栄東地区が快適な居住環境を維持できるのも、こうした個人や団体の活動のお陰であり、この場をお借りして、受賞をお喜び申し上げますとともに日ごろのご貢献に感謝申し上げます。



▲左から井野環境衛生部長と石井町内会長(栄町東町内会)、北崎迪子さん(栄東連合町内会副会長)

■■ 令和2年12月12日(土) ■■

## ～ウィズコロナ時代見据え、ZOOM研修を開催～

栄町新栄町内会(丸藤益三会長・加入365世帯)でweb会議システムの「ZOOM研修」を開催しました。新型コロナ禍のもと町内会の会議・会合に支障が生じていますが、今後の活動の参考にしようとして役員会の後、多少パソコンなどの知識がある方に残っていただき実施したものです。

講師は、栄東まちづくりセンターの長谷部英司・所長で、前半は、プロジェクターを使ってZOOMの仕組みや使い方を講義し、後半は、タブレット端末を使用してZOOM会議の体験を行いました。参加者の皆さんは「使ってみて便利で、意外と簡単ということが分かりました」との感想を述べられていました。

新型コロナの終息はまだ見通せず、「ウィズ(with)コロナ時代」に、感染を防止しながら町内会活動を円滑に行っていく上でweb会議システム活用への期待が広がっています。栄東まちづくりセンターでは、今後もZOOMやホームページ研修などを地区内で希望する町内会・各種団体向けに実施し、活動の担い手のICTスキル向上を目指して行くとしています。



■■ 令和2年12月24日（木）～29日（火） ■■

## ～東消防団栄分団が歳末特別警戒を実施～



消防団は、地域における消防防災のリーダーとして地元に着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を果たしています。栄東地区でも、東消防団栄分団（中田晃義・分団長。団員29名。栄西、栄東を担当）が活動しています。

火災に特に注意しなければならない歳末に、東消防団栄分団では、令和2年12月24日～29日の6日間の特別警戒を実施。同分団の詰所（東区北46条東2丁目）に期間中、毎夜4、5名の団員が詰めて火災などの発生時に直ちに出勤できるように警戒にあたりました。今年は、新型コロナウイルスに明け暮れ、感染防止のため区内巡視は中止しましたが、こうした地域に着した活動が私たちの安全安心を守っていることを忘れてはなりません。

12月25日夜には、菊地裕嗣・栄東連合町内会長、中谷暁生・防火防犯部長が同分団詰所を訪問し、栄分団の日々の活動に対して感謝するとともに夜間の特別警戒に対して激励を行いました。



■■ 令和2年12月28日（月） ■■

## ～歳末の夜に栄町町内会が合同防犯パトロール～

犯罪の発生状況は目に見えませんが、栄町町内会付近でも窃盗の事件が発生しています。また、高齢者の資産を奪う特殊詐欺も跡を絶たず、不審者の出没が子どもたちの安全を脅かしています。地域の安全は、警察はもとより地域みんなの手で守ることが求められていると言えます。

栄町町内会（五十嵐力会長。952世帯）では、今年度、地域防犯の活動が認められて札幌東防犯協会連合会から防犯功労表彰を受賞されていますが、12月28日夜も札幌方面東警察署栄東交番などと連携して、合同防犯パトロールを実施しました。この日、参加したのは同町内会の役員10名と交番などの警察官3名。今年は午後8時、ケアセンター栄町（東区北47条東17丁目）を出発し、特殊詐欺の防止を重点に4つの班に分かれて「渡さない、教えないで詐欺をブロック」などと書かれた特殊詐欺防止のチラシを地域のマンションや戸建ての住宅にポスティングして被害防止を呼びかけました。歳末の夜は一家団欒の時間ですが、こうした地道な活動が地域の安全・安心な暮らしを守ることにつながっています。

同行された警察官からは、「コロナ流行の今だからこそ、もっとオンラインで離れた家族とつながることが大切。特殊詐欺防止には、離れて暮らす家族を一人にしないで」と話されていました。家族の絆（きずな）を深めて、特殊詐欺を防止しましょう。

